

アクト・アクセラレーター ウォッチ

ACT-A WATCH

新型コロナとたたかう国際協働のいま

JCIE

保健医療の逼迫・崩壊は、HIVやマラリア、母子保健などにも

2022.01.14 保健システム アフリカ



(写真) ナイジェリアの病院でHIVの母子感染予防ケアを受ける母子

(©The Global Fund/Andrew Esiebo/Panos)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、HIVやマラリアなどの感染症対策等が負の影響を受けていることが明らかになっています。

ACTアクセラレーターの治療部門を担うユニットエイドは2021年11月30日の[声明](#)で、COVID-19パンデミックの影響で、20年のHIVの検査・治療数が前年を下回ったとし、減少に転じたのは過去20年間で初めてのことでありと述べています。世界には、いまなお3700万人以上がHIVと共に生きており、そのうちの推定610万人が自分の状態を知らない

ため、検査を受けることは治療にアクセスするための重要な第一歩です。検査を増やすためには、保健所等に行かなくても自分で診断できるセルフテストが有効であり、この数年間で各国が政策に組み込んできたHIVのセルフテストのさらなる拡大が必要です。しかしながら、ユニットエイドによれば、25年までに低・中所得国で必要とされる1億9200万回分のセルフテストキットのうち、調達の見込みが立っているのは、約2900万回分に過ぎず、そのための資金も約1億400万ドル不足しています。

一方、世界保健機関（WHO）の「[世界マラリア報告書](#)」によると、COVID-19のパンデミックによってマラリア対策が混乱し、患者数と死亡者数が著しく増えていることが明らかになりました。20年のマラリア患者は推定で2億4100万人にのぼり、62万7000人が亡くなりました。前年と比較とすると、患者数が約1400万人、死者数が6万9000人それぞれ増えています。WHOは、死者数増加の3分の2にあたる4万7000人が、COVID-19のパンデミックによる予防・診断・治療の提供中断に関連しているとしています。

また「女性・子ども・青少年のためのグローバル・ファイナンス・ファシリティ（GFF）」は、COVID-19パンデミックによる保健医療の逼迫・崩壊によって、COVID-19による死者数の2倍の女性や子どもが死亡しているとの[調査結果](#)を発表し、保健システム強化への一層の支援を求めています。

シェアする

ツイート

一覧に戻る

NEWS

2022.10.21 **ACT-Aの外部評価を公表 おおむね高評価の一方、今後の教訓も**

2022.09.30 **パンデミックの終息に向け、3つのギャップ克服を グテーレス国連事務総長**

2022.09.29 **最もリスクの高い人々のための検査と治療へのアクセスがカギ ACT-A分...**

2022.09.28 **ACT-Aの各分野、多くの国で目標からいまなお遠く**

2022.07.11 **G7サミット、COVID-19対策を議論 パンデミックに備える新たな金...**

アクト・アクセラレーター ウォッチ

ACT-A WATCH

新型コロナとたたかう国際協働のいま

[TOP](#)

[NEWS](#)

[ACT-Aとは](#)

[Twitter](#)

[Privacy Policy](#)

JCIE JAPAN CENTER FOR
INTERNATIONAL EXCHANGE
日本国際交流センター

〒107-0052

東京都港区赤坂1丁目1番12号 明産溜池ビル 7F

Tel.03-6277-7811 Fax.03-6277-6712

©Japan Center for International Exchange (JCIE)